

NO37 江戸後期の国際関係

2011、2013、2014、2015年と連続して江戸後期の外交が出題されている。どれも正答率の低い難問である。

NO295 江戸後期知識人の主張 2014 本

当時の知識人の主張Ⅰ・Ⅱと人物名 a～c の組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

Ⅰ 当時長崎嚴重に石火矢の備え有りて、かえって安房・相模の海港にその備えなし。この事ははなはだ不審。細かに思えば、江戸の日本橋より唐・阿蘭陀まで境なしの水路なり。然るにここを備えずして長崎にのみ備うるは何ぞや。

Ⅱ オロシヤと交易の事おこらば、この力を以て開發ありたき事なり。この開發と交易の力をかりて、蝦夷の一国を服従せしめば、金銀銅に限らず、いっさいの産物・皆我が国の用を助くべし。

a 林子平 b 本多利明 c 工藤平助

- ① Ⅰ-a Ⅱ-b ② Ⅰ-b Ⅱ-a ③ Ⅰ-a Ⅱ-c
- ④ Ⅰ-c Ⅱ-a ⑤ Ⅰ-b Ⅱ-c ⑥ Ⅰ-c Ⅱ-b

正解→Ⅰは海防論の林子平、Ⅱは本多利明の経世秘策

NO296 近世後期の海外情報 2014 本

近世後期の海外情報とその受容について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 司馬江漢は、西洋画の技法を取り入れた「西洋婦人図」を描くとともに、エレキテルを製作した。✕司馬江漢の西洋婦人図は正しいが、エレキテルは平賀源内
- ② 杉田玄白らは、西洋医学の解剖書『ターヘル＝アナトミア』を翻訳した。
- ③ 志筑忠雄は、『暦象新書』を著して、ニュートンの力学やコペルニクスの地動説を紹介した。
- ④ 大槻玄沢は、『蘭学階梯』を著すなど、蘭学の普及につとめた。

正解→①

NO297 雄藩 2003 追試

藩政改革に成功した雄藩の人物甲・乙と、その人物の説明文Ⅰ～Ⅳとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

甲 鍋島直正 乙 村田清風

- Ⅰ 農村の再建をめざして均田制を実施した。
- Ⅱ 米沢織の生産を奨励し、藩学興譲館を設置した。
- Ⅲ 越荷方の制度を整えた。
- Ⅳ 琉球との貿易を拡大して利益をあげた。

- ① 甲-Ⅰ 乙-Ⅲ ② 甲-Ⅰ 乙-Ⅳ
- ③ 甲-Ⅱ 乙-Ⅲ ④ 甲-Ⅱ 乙-Ⅳ

正解→①鍋島直正は均田制、村田清風は越荷方。

NO298 ロシア船の接近 2013 本試

18世紀末から19世紀前半の対外関係に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

X ロシアの使節ラクスマンが根室に来航し、漂流民を送り届け、通商を求めた。

Y ロシア軍艦のゴローウニンが、国後島で捕らえられた。

- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

正解→①正・正の解答は正答率が低い。

NO299 江戸時代の北方関係 2004 本試 やや難 正答率 37.7%

江戸時代の北方関係について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 最上徳内は、シベリア方面を探検した。
- ② ラクスマンは、高田屋嘉兵衛をともなって根室に来航した。
- ③ 伊能忠敬は、蝦夷地の沿岸部を測量した。
- ④ レザノフは、大黒屋光太夫をともなって根室に来航した。

正解→最上徳内が探検したのは蝦夷地で✕、ラクスマンは大黒屋光太夫をともなったので✕、レザノフが向かったのは長崎で✕、正解→③

NO300 近世後期の対外関係 2015 本試 難問 正答率 37.2%

近世後期の対外問題への幕府の対応に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて古いものから年代順に正しく配列せよ。

- Ⅰ 海防上の必要から、近藤重蔵らに択捉島の探査を行わせた。
- Ⅱ アヘン戦争の情報を受け、外国船に対する薪水給与を命じた。
- Ⅲ ロシアとの間に軍事的緊張が高まるなか、はじめて全蝦夷地を直轄地とした。

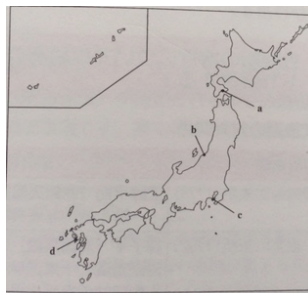
正解→Ⅰ→ラクスマン来航後、幕府は1798年近藤重蔵・最上徳内を択捉島を探査させます。その後レザノフの来航をはさんで全蝦夷地を幕府の直轄地として松前奉行の支配のもとにおきます。Ⅲです。ロシアとの緊張高まる。ゴローウニン事件で関係改善し、1821年蝦夷地を松前藩に還付。Ⅱはアヘン戦争1840の結果をふまえて薪水給与だからⅠ-Ⅲ-Ⅱ

NO301 異国船の日本来航 2011 本試

異国船の日本来航、またはそれへの対応に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に並び替えよ。

- Ⅰ イギリス軍艦フェートン号が長崎に侵入した。
- Ⅱ アヘン戦争の情報を受けた幕府により、薪水給与令が出された。
- Ⅲ 異国船打払令（無二念打払令）が出された。

正解→Ⅰフェートン号乱入し乱暴働く、よって異国船打払令を出すも、アヘン戦争でおどされ薪水給与令ですね。正解→Ⅰ-Ⅲ-Ⅱ



NO302 日本と諸外国との関係 2014 本試 やや難 正答率 39.6%

日本と諸外国との関係について述べた次の文X・Yと、下の地図上に示した場所a～dの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

X 日米和親条約によって、下田とともにこの場所が開港された。

Y 商船モリソン号が、この場所で砲撃を受けた。

武器としての日本史

Pain is inevitable Suffering is optional

- ① X-a Y-c ② X-a Y-d
③ X-b Y-c ④ X-b Y-d

正解→Xが函館でaは容易。しかしモリソン号はどこにきたか？

アメリカ商船のモリソン号が浦賀沖に接近し、日本人漂流民7人を送還して日米交易を図ろうとしたが、幕府は異国船打払令で撃退した。山川教科書に書いてある。正解→①

田沼期	1778 ロシア船、蝦夷地に来航	田沼意次は1783【工藤平助】の「赤蝦夷風説考」の影響受け【最上徳内】に蝦夷地の調査命じる。
寛政期	1792【ラクスマン】(露)「根室」に来航	【林子平】『海国兵談』の絶版処分1792 【近藤重蔵】の千島探検 →大日本恵呂府の標柱 東蝦夷地の直轄化1799 【伊能忠敬】が幕命で蝦夷地測量1800
文化期	【レザノフ】長崎に来航1804 【長崎】で【フェートン号】事件1808 【ゴローウニン】事件1811~13 →国後島で捕え監禁	全蝦夷地の直轄化1807 →松前奉行の支配下に 【間宮林蔵】の樺太探検1808
文政期		蝦夷地を松前藩に還付1821 【異国船打払令】1825
天保期	アメリカ商船【モリソン号】事件1837 →《浦賀》に接近し日本人漂流民7人を送還して交易企図。 【アヘン戦争】1840~42	【渡辺崋山・高野長英】処罰 →蛮社の獄1839 【天保の薪水給与令】1842

NO303 江戸時代の儒者と対外関係 2012 本試 年代整序

江戸時代の儒者と対外関係に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に並び変えよ。

- Ⅰ 水戸藩の会沢安(正志齋)が『新論』を書き、尊王攘夷運動に影響を与えた。
Ⅱ 木下順庵の門下である雨森芳洲が、対馬藩で対朝鮮外交に尽力した。
Ⅲ 幕府に登用された林羅山が、外交文書を起草した。

正解→Ⅲ-Ⅱ-Ⅰ 雨森芳洲は新井白石と対立した。

NO304 江戸時代の社会体制批判 2004 追試

江戸時代の社会体制批判の動きに関連して述べた文として誤っているものを、次の①～④の

うちから一つ選べ。

- ① 本多利明は、貿易による国富の増進を主張した。
② 安藤昌益は、『自然真営道』を著して社会を批判した。
③ 山県大弼は、尊王論を唱えて幕府を批判した。
④ 佐倉惣五郎は、世直し一揆を指導した義民とされている。

正解→山県大弼は、18世紀半ばに江戸で尊王論を唱えて死刑となった。佐倉惣五郎は代表越訴型一揆の代表的人物である。世直し一揆は幕末の混乱期の一揆である。正解→④

STEP2 私大対策

列強の接近

蝦夷地を支配した松前藩は、時にはaアイヌの反乱を押さえつつ、b交易によって藩の経営をおこなっていた。ロシアは極東開発のための物資を求めて、1792年にc(1ラックスマン)が根室に漂流民(2大黒屋光太夫)をともなって来航し通商を求めた。

《最難関レベル→『北槎聞略』を著したのは《桂川蕭周》である。

1804年には(3レザノフ)が長崎に来航した。幕府は通商を拒否したため、日露間は緊張し、幕府はd北辺の探検を急いだ。

一方、1808年にはイギリス軍艦が長崎のオランダ商館を攻撃する(4フェートン号)事件が起きた。難関レベル→フェートン号事件で引責辞任した長崎奉行は《松平康英》その後1811年には、ロシア軍艦の艦長(5ゴローウニン)を国後島で捕えて監禁します。それに対してロシアは淡路の商人(6高田屋嘉兵衛)を抑留しますが、その後日本に送還して、ゴローウニンが釈放されるという事件も起こっている。事件後、攘夷の声が高まり、1825年には(7異国船打払令)が出され、沿岸に接近する外国船を撃退することが定められた。これにより、(8浦賀)に交易を求めてやってきたアメリカ商船(9モリソン号)が打払われる事件が起きている。この事件は、e蘭学者たちから批判されたが、幕府は(10蛮社の獄)で彼らを弾圧した。

<設問>

- a どのような出来事があったか。ジャクシャインの乱
b この方式をなんというか。商場知行制
c 漂流民の見聞をもとに、桂川甫周が著した書名を記せ。北槎聞略
c 千島、樺太の探検をおこなった者を記せ。最上徳内、近藤重蔵、間宮林蔵
d 幕府を批判した者について、著書と合わせて2人記せ。
難関レベル→渡辺崋山 慎機論 高野長英 戊戌夢物語